NagoyaGRAMPUS

名古屋グランパス ワイズメンズ クラブ

NAGOYA YMCA 1-2-7 HARUOKA CHIKUSAKU NAGOYA 464-0848 JAPAN

国際会長主題	「VALUES, EXTENSION and LEADERSHIP 」 価値観、エクステンション、リーダーシップ
アジア太平洋地域主題	「変化をもたらそう」Make a difference
西日本区理事主題	「“Let’s do it now !”」 “2022 に向け誇りを持って All is Well.”
中部部長主題	「知らせよう ワイズの奉仕活動を」
クラブ会長主題	「コロナ渦の中・新しいYMCAサポート模索し実行」

がんばれ日本　がんばるワイズ

2021年　3月

―<今月の聖句>―

主に望をおく人は新たな力を得 鷲のように翼を張って上る。
走っても弱ることなく、歩いても疲れない。

イザヤ 40：28～31

クラブホームページ　http://www.ys-chubu.jp/main/gburiten/grampus2020-2021.pdf

2021年 3月例会　他ご案内

@３月第１例会・ＷＥＢ例会
名古屋クラブとの合同例会(担当　坂口)

と　き：３月　９日　(火)　１９：００～
ところ：ＺＯＯＭ例会
　　　配信会場/本館５Ｆチャペル

卓　話：「あの日から未来へ
　　　～昔のままの未来にむかって」
講　師・村井伸夫氏　仙台YMCA総主事

・名古屋クラブとの合同例会となります
・原　晃氏のグランパスクラブ入会式

@３月第２例会・ＷＥＢ例会(担当　坂口
と　き：３月１９日　(金)　２０：００～
ところ: ＺＯＯＭ例会

@第１０回３・１１チャリティーウォーク
延期となり開催日は未定です。

@名古屋ＹＭＣＡリーダー感謝会
と　き：３月２１日　(日)１６：００～
ところ:南山ＹＭＣＡ
・今年はワイズの参加と会食はありません
　クラブとしてリーダーへのプレゼントで
　支援

２月例会	例	会	出	席状況	B Fポイント		クラブファンド（月）	
	在　席　者	14名	第　1　例　会	13名	当　月・切　手	－	ニコBOXノート	－
	例会出席者	15名	第　2　例　会	13名	当　月・現　金	－	感 謝 ファンド	－
	当月出席率	107%	そ　の　他	2名	累　計	－	累　計	－

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”
＝強い義務感を持とう。義務はすべての権利に伴う

第１例会・オンライン例会議事録

日　時：2 月 12 日（金）20:00～21:30
出席者：坂口・荒川・服部・早川・三井・吉田
　　　　高田・松原・遠藤・坂野・阿部・下村
　　　　青木
欠席者：信田

「内　容」

1-1・**西日本区への献金タイム・オブ・ファスト（TOF）グローバルプロジェクト・ファンド送金額変更について**　　坂口

・これまでメンバー数 14 名×1/2×500 円であったが次年度より@500 円→700 円と金額変更することで確認。

1-2　**ＹＭＣＡ研修報告**　　遠藤担当主事

・10 月から 11 月に参加した研修テーマ　「ユースボランティアと共に社会の課題に向き合う」について研修内容を資料を用いて詳細に報告。
・三井より本日の報告についてブリテン用原稿投稿を依頼。

1-3　**次期クラブ役員について**　　服部

・2021-2022 年度のクラブ担当役員案について次期会長服部君より説明があり、了承を得る。

会　長	服部 庄三	
副会長	信田伊知郎	
書　記	下村 明子	
会　計	早川 政人	
直前会長	坂口 功祐	
監　査	吉田 一誠	
Yサ・ユース	青木 哲史	高田 士嗣
地域奉仕・環境	阿部 一雄	
EMC	坂野 清治	信田伊知郎
国際・交流	松原 行謙	
ファンド	高田 士嗣	
広報・ブリテン	三井 秀和	荒川 恭次
メール委員	下村 明子	荒川 恭次
担当主事	遠藤恵美子	

・例会は当面 ZOOM で行い第一例会日について基本的に火曜日として第二例会日について随時日程を設定する
・次年度例会開催場所としては遠藤担当主事が本館勤務となるため現在の日本語学院のみとせず本館での開催場所も採用の意見が出る、次回の第二例会で再度検討する。

1-4　**第 21 回日本 YMCA 大会**　　遠藤担当主事

・遠藤担当主事より 2 月 23 日(火・祝) 開催される日本 YMCA 大会は YOUTUBE と ZOOM の活用で開催される事を説明、メンバーへの参加の要請

1-5 **フリートーキング**

・第二例会 2 月 16 日にピンクシャツデーに関して参加する意味で「ピンク」を身に着けるよう会長より要請。
・原氏の入会について坂口会長を主として対応している旨説明。

第２例会・オンライン例会議事録

日　時：2 月 16 日（火）20:00～21:30
出席者：坂口・荒川・服部・早川・三井・吉田
　　　　高田・松原・信田・坂野・阿部・下村
　　　　遠藤
ゲスト：原+メネ
欠席者：青木

「内　容」

1-1　**ワイズ関係の動き報告**　　早川中部部長

・2 月 27 日（土）中部評議会をオンライン開催
・3 月に北陸方面のクラブへ部長公式訪問予定。

1-2　**全国 YMCA、名古屋 YMCA 報告**　　遠藤担当主事

・2 月 23 日（火・祝）日本 YMCA 大会。ZOOM によるオンライン配信。
・ピンクシャツデーは、今年は 2 月 24 日（水）

・当日はピンクの物を身に付けて過ごして欲しい。
・ピンクのアイテムを身に付けた写真は YMCA の SNS にアップ可能なので、協力できるメンバーは遠藤さんへ写真を送る。

1-3　**3 月名古屋クラブ第一例会について**　　高田

・3 月 9 日（火）19 時より本館 5 階チャペルより ZOOM によるオンライン配信。
・謝礼は名古屋クラブとグランパスクラブが 1 万円ずつ、中部より 1 万円。 合計 3 万円を仙台 YMCA 村井総主事にお渡しする。

1-4　**リーダー感謝会**　　信田

・3 月 21 日（日）16 時より南山 YMCA にてリーダー感謝会。今年は会食が出来ないので、食事以外の支援方法を考える必要がある。何かプレゼントしてはどうか、遠藤さんから残るリーダーに希望するものを聞いてもらう。

1-5　**原さん入会式**　　　　　　　　　　　　信田

・3 月 9 日（火）19 時より本館 5 階チャペルより ZOOM によるオンライン配信。
・式次第は名古屋クラブ平野ワイズが作成予定。出来次第原さんに案内。
・坂口、早川、荒川各メンが現地参加。入会グッズは西日本区から届いている。

1-6　**日本語学院支援について**　　　　　　　吉田

・セカンドハーベストの理事長が体調不良で退職。卓話は他のスタッフの方で対応可能。4 月 20（火）の第二例会で 30 分程度時間を確保したいので先方へ日程を確認する。
・セカンドハーベストの賛助会員としてグランパスで支援ができないかどうか。これを機に大量の廃棄食糧が出る問題を考えなければならない。
・第 1 例会の花見は学院の学生との交流予定。土日がよいのか学校へ確認して日程を決める。ドライバーは早川、服部各メン。
・グランパスの学院支援（体温計の寄付など）はブリテンに掲載する。

1-7　**東稜、グランパス合同例会＆ロシア**　　松原

・ロシアへ送る七宝焼：シール案を東稜クラブ大槻ワイズと打ち合わせ中。
・合同例会：進捗を東稜クラブ担当の奥西ワイズに確認する。

1-8　**ブリテン記事依頼**　　　　　　　　　　三井

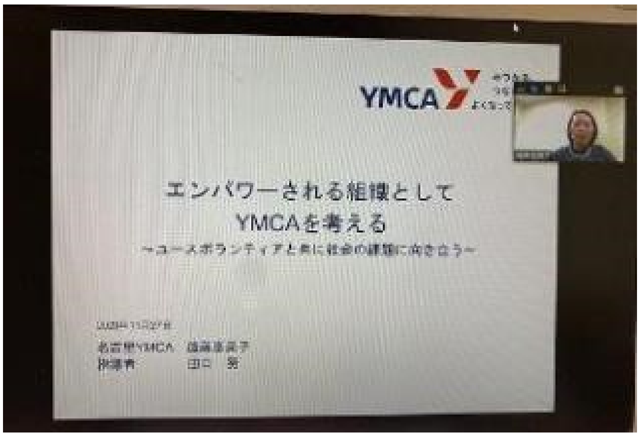
・第一例会（三井）／　YMCA 大会（荒川）
　第二例会（下村）／　中部評議会（早川）
　YMCA たより（遠藤）
・原稿〆切は 2 月 25 日（木）まで。
　中部評議会については開催後速やかに。

遠藤担当主事研修報告

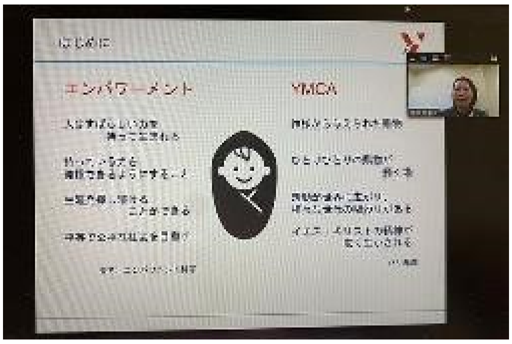
研修報告

担当主事　遠藤美恵

10 月から 2 ヶ月間研修に参加してまいりました。
2 月例会では、お時間いただき研修の報告をさせていただきました。



「ユースエンパワメント」をテーマに研修のまとめのレポートを作成いたしました。
エンパワメントは、一人ひとりが生まれ持った賜物を持っており、その力が発揮できる環境があることが大切だとしていますそして、人間の潜在能力の発揮を可能にするよう平等で公平な社会を実現しようとするところに価値を見出すという視点があります。



レポートでは、Z 世代と言われるユース世代の特徴や若者の抱えるものについてあげています。その特徴に対して YMCA を通してプラスにできることは何なのか、ユースが本来持っている力を引き出すには、リーダーが成長していくには、どんな働きかけやどんな体験ができるとよいのかについてまとめました。具体的にどのような積み重ねをしていくのかは、今後の課題でもあります。

リーダーたちの「子どもたちのために」という気持ち、「やってみたい」というチャレンジ精神を大切にユースボランティアの成長を支えていきたいと思います。
この研修では、多くの人との繋がりができたこともとても大きな実りでした。コロナ禍でも研修を実施していただいたこと、2 ヶ月の長い期間研修に集中できる環境をいただいたことに感謝しております。
この体験を今後生かせるように頑張ってまいります

第３回中部評議会報告

中部部長　早川　政人

2020～2021 年度 第 3 回中部評議会が 2 月 27 日（土）午後 3：30 から ZOOM にて開催されました。
開会宣言の後開会の祈りを南山クラブの荒川会長で始まりました。評議会の出席数と委任状の提出で成立しました。議長は早川が勤め、進行は中部荒川書

記が進め、議案は次期主査の選出が議決されました。第1号協議は2022～2023年度中部部長の選出とホストクラブについて協議され、金沢クラブととやまクラブでの話し合いで決めていただく事になました。第2号協議は理事等支援金についての協議です。中部各クラブ内で話し合って結論を題していただく事になりました。第3号協議は中部会計からの理事への基金支援についてです。第2号協議と第3号協議も同様に各クラブに持ち帰り協議をしていただく事に決まり、議案・協議は滞りなく終わりました。次は事業主査・各クラブ報告に移り、各クラブの例会等活動状況を聞きました。コロナ禍の中事業も例会も手探り状態で行われ苦労されています。
その他の報告で、次回の評議会開催次期は５月ごろとしました。この第3回の評議会では基金の協議が主な話ですが、中部各クラブの協力が発揮され心強く感じました。
各クラブ会長・主査の皆さんに感謝いたします。

ＺＯＯＭイベントに参加して

1. 第 21 回日本YMCA大会

荒川恭次

2月23日（祝火）第21回日本YMCA大会が開催され参加しました。新型コロナ禍により年間計画された各イベントはことごとく中止に追い込まれていますが、集合がだめならオンラインがあると主催者は前向きに取り組んでいます。本大会も然りで工夫された内容で楽しませていただきました。YMCA大会は本来なら会場は御殿場の東山荘ですので、普通ならなかなか参加することは叶いませんが、今回は第一部がユーチューブ、第二部がZOOMと全国から同時間に自宅等から気楽に総勢190名が参加しました。

川本YMCA同盟会長（名古屋クラブ）の挨拶から始まり、第一部は「注目のYMCAとチーム」として各地域YMCAの活動の紹介。私たちグランパスもよく訪れた東日本大震災で被害を受けた山本いちご農園の復興の紹介等、現地関係者から生の声を聴くことができました。第二部はZOOMの機能をフル活用したグループディスカッションで、5～6人でグループを組み一部屋の中で話し合いの場を持つことができました。私は熊本の守田ワイズと富山YMCAのユースリーダーチーム、東山荘スタッフ等と楽しく語り合いました。

190名の参加者はパソコンのモニター1画面には収まらず、25名ずつの8ページをスクロールせねばならず、グループディスカッションは良いアイデアだった思います。参加者個々の会話はチャット機能を使えば他の参加者に音声混入による迷惑をかけず行えました。日本YMCA大会には初めての参加でしたが、全国のYMCAの情報を知ることができ、また使いこなれたオンライン会議の方法を勉強することができました。

この画面が8ページありました

2. 第 32 回ハイブリット阪和部会

荒川恭次

日本YMCA大会の3日前の2月20日（土）に阪和部部会が3会場の集合とZOOM併用のハイブリットで開催され、私はZOOMで自宅から参加しました。
今年度の西日本区の各部部会は新型コロナ禍の影響で中部はもちろん殆どの部で開催されていません。

ワイズの信条である交流ができないもどかしさは世界中のワイズメンが感じていることかと思います。

阪和部では中井部長の強い想いから部会のハイブリット開催に至りました。メインの卓話では、仙台 YMCA と繋いで、村井総主事による「東日本大震災10 年を振り返って」との講演で、我グランパスクラブには縁の深い東北地方の震災復興について 10 年間の出来事を聞くことが出来ました。会食もなく 1 時間 30 分という短い開催時間ではありましたが、集合3会場と ZOOM 参加者約 133 名は十分交流できたことと思います。何もできないではなく、何とかしようと考える前向きな姿勢は、路を開く大きな力になるものと思いました。

3. 日本語学院チューター活動

荒川恭次

　名古屋 YMCA 日本語学院のチューター活動は、現在は新型コロナ禍の影響で対面ではなく ZOOM による方法となっています。私はベトナムから来日のハーさんの担当として2月からチューター活動を再開しました。

　蛇足ですが、ZOOM の唯一の難点は目線が合わないことです。パソコンのカメラは普通モニター上部にあるた　め、画面上の相手の顔を見ると相手からは目を伏せているように見えます。複数人での ZOOM 打ち合わせは気になりませんが、1対1の場合は非常に気になります。技術革新を期待するところです。

2 月 24 日のチューター活動ではピンクシャツデーの話題となり、お互いの仮想背景と上着をピンク色にして会話を楽しみました。皆さんもぜひチューター活動に参加して、学生たちを日本語支援していただき異文化交流を楽しんでいただけたらと思います

ＹＭＣＡたより

2 月第 4 水曜日のピンクシャツデーでは、いじめについて考える時を、それぞれの場で持っていただきありがとうございました。新型コロナウイルスの影響で格差が顕在化する中、立場や環境の違いがある中でも連帯する気持ちを持っていきたいと思います。写真の提供や例会の際にご協力いただき、ありがとうございました。3 月 21 日（日）リーダー感謝会が行われます。今までのように食事をしながらお話しを、とはいきませんが、この 1 年のユースボランティアやみなさまのご奉仕への感謝の会としたいと思います。ぜひご参加ください。

リーダー感謝会
　日時：3/21（日）16：00～
　場所：南山 YMCA　ホール

名古屋グランパスクラブ
担当連絡主事　遠藤美恵

今　後　の　予　定

・4 月 9 日（土）日本語学院留学生と花見　（予定）
・4 月 20 日（火）第二例会　ZOOM 例会
・4 月 10 日（土）～11 日（日）東北遊覧飛行
　空から見る東北復興の歩みと、元気な東北体験
　（その他の 5　参照）
・第 24 回西日本区大会
　6 月 4 日（金）　前夜祭
　　5 日（土）　大会 1 日目・懇親会
　　6 日（日）　大会 2 日目
　会場：ウェスティン都ホテル京都
　（その他の 4　参照）

そ　の　他

1. 今月の誕生日

happy birthday

３月　１１日（服部　智子）
３月　１６日（吉田ゑま子）

2. 例会等出席状況

	氏　名	2/12 第一例会・WEB例会	2/16 第二例会・WEB例会	2/27 第3回 中部評議会	
1	青木　哲史	○			
2	阿部　一雄	○	○		
3	荒川　恭次	○	○	○	
4	遠藤恵美子	○	○		
5	坂口　功祐	○	○	○	
6	信田伊知郎		○		
7	下村　明子	○	○		
8	高田　士嗣	○	○	○	
9	服部　庄三	○	○	○	
10	早川　政人	○	○	○	
11	坂野　清治	○	○		
12	松原　行謙	○	○		
13	三井　秀和	○	○		
14	吉田　一誠	○	○		
	ゲスト		2		
	計	13	15	5	

3. 日本語学院留学生支援物資応募依頼

1　マスク　材質・サイズ問わず
2　体温計　仕様・タイプ問わず
3　消毒用スプレー・希釈用
　・エタノール製剤(35%以上含有品)、
　・界面活性剤成分含有製品、
　・次亜塩素酸水(80ppm 以上品)
4　除菌用ウエットティッシュ
5　使い捨て手袋(食品衛生法適合品)
6　その他、留学生へ支援となるもの
7　インスタント麵、缶詰、乾燥品等らと
　その他、日持ちする食品類。
南山 YMCA 遠藤担当主事へ各自持参してください

昨年 4 月に寄贈した非接触型体温計が不調になったため、日本語学院へ新たに非接触型体温計を寄贈しました。

4. 第 24 回西日本区大会案内　チラシ

ワイズメンズクラブ国際協会24th西日本[

詳細は「24th 西日本区大会のご案内」(添付 PDF)および下記サイトをご確認ください。
[ホーム ｜ ワイズメンズクラブ国際協会第 24 回西日本区大会 (jw-alliswell24th.com)]

・大会の登録につきましては、下記の登録 WEB サイトから手続きお願い致します。
[第 24 回西日本区大会 参加登録 ｜ 株式会社ツアーポート (tourport.co.jp)]

5. 震災復興 10 年特別企画(案)
「空から見る東北復興の歩みと、元気な東北体験」

・仙台青葉城クラブ　加藤重雄様よりの提案企画がありました。
・4/10～11 の予定　中部空港から仙台空港
　4/11ANA チャーター便で、東北の空を遊覧飛行！
　～空から見る東北復興の歩みと、元気な東北体験
・飛行ルート：仙台空港発→福島第一原発→いわき市→仙台空港→山形空港→花巻空港→宮古市→南三陸町→仙台空港着　在仙３クラブと夕食会等の内容。
・あくまでもコロナが落ち着くことが最大条件
・交通費、経費が高額となる為、別の内容での企画を依頼予定。
・上記内容は阿部君より 2/27 に配信されたメールの確認をお願いします。

6. コロナ禍でのひと時の華やか「ひな祭り」